

株式会社ピッキオのノウハウ移転事業について

1. 事業モデル名：地域の「環境」と「観光」の調和ある発展を目指す、自立したエコツアー事業モデル

2. 事業者の概要

補助事業者名：株式会社ピッキオ

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町

取り組んでいる社会的課題：観光リゾート地における永続的な自然環境の維持と、社会的環境変化に伴う観光客数の増減による収益変動。

課題への取組：「森本来の姿を、経済的価値があるものとして高く評価できれば、未来に森を残していける」との考え方から永続的な自然環境の維持のため、地域自然資源を活かした体験型・滞在型観光（エコツーリズム）の企画・実践とあわせて、野生動植物の調査研究及び保全活動を実施している。

3. 事業モデルの革新的な点・成功の秘訣：エコツーリズムに必要な要素を「地域自然資源」「自然資源を愛し、専門知識を有する専門スタッフ」「自然資源と専門スタッフがうまく機能する仕組みとしての保全システム」の3つと位置づけ、自然環境の保全と、自然を資源として活かした収益力のある観光ツアーを両立させている点。調査研究活動や、保全活動がエコツアーの企画・実施に活かされている点。

4. 移転先：

①株式会社知床ネイチャーオフィス:豊富な自然資源と、資源について専門知識を有する人材、保全を担う組織がある。

②日本エコツーリズム協会が1つ部会小笠原支部:豊富な自然資源と、専門知識を有する人材、保全システムがある。

③母島観光協会:豊富な自然資源と、専門知識を有する人材、保全システムがある。

④行方市観光協会:東京近郊でありながら霞ヶ浦や田園風景などの自然資源が残されており、自然に詳しい人材がいる。



ピッキオのエコツアー



野生動物と共存する社会を目指す取り組み



移転先の自然資源